

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

Ver13.0 から Ver14.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver14.0 3 Ver14.0 (H15.10.10)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - データシート」ポップアップメニューの追加
- (2) 「ユーティリティ - データシート - マスター取込...」コマンドの追加
データシートで作成したマスターの取込みを行います。
- (3) 「ユーティリティ - データシート - マスター転送...」コマンドの追加
データシート用マスター取込みファイルを作成します。
- (4) 「ユーティリティ - その他 - 計画データ削除...」コマンドの追加
現在選択のシミュレーションの計画データを全て削除します。
- (5) 「ユーティリティ - その他 - 全データ削除...」コマンドの追加
全てのデータを削除します。
- (6) 「ユーティリティ - その他 - 再読込...」コマンドの追加
全てのデータを削除し、再度ファイルからデータを読み込みます
- (7) 本体でデータ更新された場合のモニター側の処理の変更
現状では、再起動することにより、更新されたデータを確認していたが、
本バージョンから、再起動せずに更新されたデータを確認することが可能。
- (8) マクロコマンド「READ_DSHEET_MASTER」を追加
書式：READ_DSHEET_MASTER <省略可：引数(0,1)>
「ユーティリティ - データシート - マスター転送...」コマンドを実行します。
引数「1」を指定すると「上書きモード」でコマンドが実行されます。
省略または引数「0」で「追加モード」でコマンドが実行されます。
実行前に全てのウィンドウを閉じます。
- (9) マクロコマンド「WRITE_DSHEET_MASTER」を追加
書式：WRITE_DSHEET_MASTER
「ユーティリティ - データシート - マスター転送...」コマンドを実行します。
- (10) マクロコマンド「PLAN_DELETE」を追加
書式：PLAN_DELETE
「ユーティリティ - その他 - 計画データ削除...」コマンドを実行します。
- (11) マクロコマンド「ALL_DELETE」を追加
書式：ALL_DELETE
「ユーティリティ - その他 - 全データ削除...」コマンドを実行します。
- (12) マクロコマンド「RELOAD」を追加
書式：RELOAD

- 「ユーティリティ - その他 - 再読込...」コマンドを実行します。
- (13) ヘルプシステムを現行の WinHelp から HTML HELP へ移行
郵送のファイルを PlanWizard のフォルダへ入れて下さい。

Ver14.0 2 Ver14.0 3 (H15.10.6)

(追加・改良)

(1) バリデーションチェックの高速化

特に原材料情報を大量に設定・使用している場合、高速に動作します。

(2) データ連動の高速化

(3) MRP の高速化

(その他)

(1) 新機能チュートリアル添付 (54 章 ~ 57 章)

Ver14.0 1 Ver14.0 2 (H15.9.30)

(追加・改良)

(1) 「ユーティリティ - その他 - マスター削除...」コマンドを追加

製品を指定して、指定した製品マスター、および、関連する中間体マスターを
削除します。ただし、指定した製品が計画等に存在する場合は、削除されません。

(2) マクロコマンド「MASTER_PRODUCT_DELETE」を追加

書式：MASTER_PRODUCT_DELETE 引数 1

引数 1：製品マスターのレコード番号

「ユーティリティ - その他 - マスター削除...」コマンドを実行します。

Ver14.0 Ver14.0 1 (H15.9.24)

(追加・改良)

(1) 工程間リソース保持機能使用時のスケジューリングの高速化

データによっては、相当速くなる場合があります。

(2) 製品と半製品間の工程間リソース保持機能使用時のスケジューリングの高速化

データによっては、相当速くなる場合があります。

Ver13.684 Ver14.0 (H15.9.18)

(追加・改良)

(1) ガントチャートウィンドウ特殊文字へ以下を追加

%LAF ロットの前段取りの個別管理リソース名称

%LAP ロットの生産の個別管理リソース名称

%LAB ロットの後段取りの個別管理リソース名称

%SAF シリーズの前切替の個別管理リソース名称

%SAB シリーズの後切替の個別管理リソース名称

(2) 「マスター - 生産製品数制限マスター編集」コマンドを追加

後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。

Ver13.578 Ver13.684 (H15.9.10)

(追加・改良)

- (1) 兼用タンク制御機能へ「同時払出不可」設定の追加
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
- (2) 生産パターンマスターへ「同一時間帯生産不可設定」テーブルフィールドを追加
優先順位 M フィールドの前に追加しました。
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。

Ver13.471 Ver13.578 (H15.9.3)

(追加・改良)

- (1) 「リンクデータの設定」ダイアログボックスにドロップダウンリストを追加
選択肢は、「始」、「含」があり、絞込み条件の探索方法指定できます。
現状は、「始」で探索していましたが、選択により、「含」で探索可能となりました。
- (2) 「リンクリストデータの設定」ダイアログボックスにドロップダウンリストを追加
選択肢は、「始」、「含」があり、絞込み条件の探索方法指定できます。
現状は、「始」で探索していましたが、選択により、「含」で探索可能となりました。
- (3) 個別管理リソースガントチャートで、マウスによるジョブの割付変更が可能となりました。再スケジューリングでも、割付変更状態を保持したい場合は、ガントチャート等で元の計画を固定して下さい。
- (4) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「元の計画を固定」
選択したジョブの元の計画を固定します。
- (5) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「元の計画を固定解除」
選択したジョブの元の計画を固定解除します。

Ver13.457 Ver13.471 (H15.8.26)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートウィンドウのプロパティ「移動」タブへ以下を追加
「切替回数制限」 チェックすると切替回数を考慮して移動します。
現状は、常にチェックされている状態です。
- (2) 個別管理リソースガントチャートウィンドウで、以下の特殊文字を追加
%JC リソースのコード (個別管理リソースガントチャートのみ)
%JN リソースの名称 (個別管理リソースガントチャートのみ)
%JM1~5 リソースの備考 1~5 (個別管理リソースガントチャートのみ)
- (3) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「個別管理リソース情報表示...」
選択した個別管理リソースの情報を表示します。
- (4) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加

- 「リソース情報表示...」
選択したジョブのリソースの情報を表示します。
- (5) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「ジョブ情報表示...」
選択したジョブの情報を表示します。
- (6) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「同一ジョブ割付個別管理リソース抽出」
選択したジョブと全く同じジョブが割付けられている個別管理リソースを抽出します。
- (7) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「関連ジョブ割付個別管理リソース抽出」
選択したジョブと関連するジョブが割付けられている個別管理リソースを抽出します。
選択したジョブと全く同じジョブ、または、同一のロット等で違うジョブ(リソース)が割付いている個別管理リソースを抽出します。
- (8) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「ジョブ割付可能個別管理リソース抽出」
選択したジョブを割付可能な個別管理リソースを抽出します。

Ver13.438 Ver13.457 (H15.8.20)

(追加・改良)

- (1) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
・GetPersonalResourceTable
個別管理リソースマスターを取得します。
- (2) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
・GetPopMonitorSetTable
POP 端末設定マスターを取得します。
- (3) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
・GetQcConnectTable
QC コネクトマスターを取得します。
- (4) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
・GetSetupTimesLimitTable
切替回数制限マスターを取得します。
- (5) PlanWizard.tlb ファイルを添付します。
COM 機能をご利用のお客様は、添付ファイル「PlanWizard.tlb」を PlanWizard インストールフォルダへ上書きして、付録8 (COM 機能) の「1. レジストリへの登録」に記述している内容を再度実行して下さい。

Ver13.435 Ver13.438 (H15.8.8)

(追加・改良)

- (1) 設備マスターの放置切替フラグの選択肢を以下に変更
現状 2 選択肢 : 「前切替」、「後切替」

新規 4 選択肢 : 「前切替 1」、「後切替 1」、「前切替 2」、「後切替 2」
現状の選択肢、「前切替」、「後切替」は、それぞれ、「前切替 1」、「後切替 1」と
なります。「前切替 2」、「後切替 2」を選択した場合は、前後の製品関係に関係なく、
前後の空き時間が放置切替時間以上、且つ、放置切替で設定した切替時間よりも
短い場合は、放置切替で設定した時間を切替時間とします。

Ver13.427 Ver13.435 (H15.7.30)

(追加・改良)

- (1) 製品マスターへ「納期補正」フィールド(選択型)を追加
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
- (2) ガントチャートの編集メニューへ「ロット No(C)変更...」コマンドを追加
指定したロットのロット No、及び、オーダーの一連のロット No、関連する在庫の
LotNo を変更します。

Ver13.320 Ver13.427 (H15.7.23)

(追加・改良)

- (1) リソースマスターへ「リソース種別」フィールド(選択型)を追加
「リソースタイプ」フィールドの前へ追加しました。
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
ヒント: 今回のバージョンアップで、兼用タンクの制約が考慮できるようになりました。
- (2) スケジューリング画面の優先順位項目へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)」を追加
半製品・製品の紐付けを行い、先頭の半製品の最遅仕上日と比較します。
- (3) スケジューリング画面の優先順位項目へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)」を追加
半製品・製品の紐付けを行い、最終の製品の最遅仕上日と比較します。
- (4) 「生産計画 - オーダー - オーダー自動分割...」コマンドの追加
オーダー分割可能なオーダーを全てオーダー分割を行います。
- (5) マクロコマンド「ORDER_AUTO_DIVIDE」を追加
「生産計画 - オーダー - オーダー自動分割...」コマンドを実行します。

Ver13.117 Ver13.320 (H15.7.17)

(追加・改良)

- (1) 原材料マスターに「半製品・製品間リソース情報」フィールド(テーブル型)を追加
「優先順位」フィールドの前に追加しました。
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
- (2) オーダーリストに「半製品・製品間割付リソース」フィールド(テーブル型)を追加
「前回終了日」フィールドの前に追加しました。
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
- (3) 半製品と製品間の工程間リソース保持機能が動作するようになりました。
後日、詳細資料をお送り致します。データを設定しないで下さい。
ヒント: 今回のバージョンアップで、倉庫容量、及び、製品の最大在庫、等の制約

ができるようになりました。

Ver13.088 Ver13.117 (H15.7.7)

(追加・改良)

(1) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下のコマンドを追加

「情報表示 - 中間体グループ情報表示」

指定したシリーズまたはロットの中間体グループ情報を表示します。

(2) 製品と半製品間の一連ラインの設定が可能となった。

ただし、製品と半製品の関係が多対多の場合等は、うまく動作しない場合があります。

設定方法は、通常の方法と同様に、一連ラインに設定したい半製品の工程の名称を半製品側、及び、製品側の生産パターンに指定します。

Ver13.042 Ver13.088 (H15.7.1)

(追加・改良)

(1) コントロールファイル転送で、抽出レコードだけを出力できるようにした。

書式#File の場所で指定します。

現状書式：#File 引数 1

新規書式：#File 引数 1 <省略可：引数 2 引数 3>

引数 1：出力ファイル名称

引数 2：「PrintOnlyWrite」or「AllWrite」から選択

「PrintOnlyWrite」を指定した場合は、抽出レコードだけが出力されます。

「AllWrite」を指定した場合は、全てのレコードが出力されます。

引数 3：「HeaderOn」or「HeaderOff」から選択

「HeaderOn」を指定した場合は、ヘッダーが出力されます。

「HeaderOff」を指定した場合は、ヘッダーが出力されません。

引数 2、引数 3 を省略した場合は、現状通り、全レコードが出力されて、ヘッダーは出力されません。

引数 2、引数 3 は、両方とも省略するか、両方とも指定するかのどちらかです。

記入例：#File <.%host%ABC.txt> PrintOnlyWrite HeaderOn

ヒント：予めテーブルウィンドウで抽出機能等を用いて必要レコードのみを抽出し、その後にはコントロールファイル転送を行うと、特定のレコードだけが出力されます。勿論、COM から同様な操作で可能です。

(2) コントロールファイル転送で、ヘッダーを出力できるようにした。

書式は、上記参照。

(3) テーブルウィンドウがアクティブ時の編集メニューへ以下のコマンドを追加

追加コマンド：「リンクデータの設定...」

リンクフィールドのセルのデータの設定は、現状のドロップダウンリストによる方法の他にこのコマンドでの入力が可能となります。

リンク先テーブルのレコード数が多い場合、こちらの入力の方が大変有効です。

- (4) テーブルウィンドウがアクティブ時の編集メニューへ以下のコマンドを追加
追加コマンド:「リンクリストデータの設定...」
リンクリストフィールドのセルのデータの設定は、現状のダイアログボックスによる方法の他にこのコマンドでの入力が可能となります。
リンク先テーブルのレコード数が多い場合、こちらの入力の方が大変有効です。

Ver13.038 Ver13.042 (H15.6.18)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「HYBRID_SET」の書式変更(引数4を追加した)
新書式: HYBRID_SET 引数1 引数2 引数3 <省略可:引数4>
引数4: 日付先頭時刻(00:00:00~23:59:59の範囲を指定して下さい。)
省略した場合は、「00:00:00」を指定したものと見なされます。
- (2) 原材料マスターの「保存不可」フィールドの選択肢へ「不可(Type3)」を追加
「不可(Type3)」を追加した場合、在庫の引当て先製品に関係なく、必ず、「生成製品」フィールドの最上位行へ登録した製品のオーダーを生成します。

Ver13.034 Ver13.038 (H15.6.12)

(追加・改良)

- (1) MRPリストから、直接レコードを削除できるように改良した。
MRP引当て予定リストを追加してからは、先に引当て予定リストを削除しないと削除できなかったが、直接レコードを削除して関連する引当て予定リストも連動して削除されるようになった。
- (2) 下位データ連動リストから、直接レコードを削除できるように改良した。
下位データ連動引当て予定リストを追加してからは、先に引当て予定リストを削除しないと削除できなかったが、直接レコードを削除して関連する引当て予定リストも連動して削除されるようになった。
- (3) ハイブリッド設定ダイアログボックスへ「日付先頭時刻」を設定できるようにパラメータ(時間)を追加した。
ヒント:現状は、ハイブリッドの設定で1日の始まりは「00:00:00」だが、「08:00:00」等、1日の始まり時刻を任意に設定できるようにした。
- (4) ハイブリッド設定ダイアログボックスのパラメータをファイルに保存するようにした。
最後に実行したパラメータの値をファイルに保持します。

Ver13.030 Ver13.034 (H15.6.6)

(追加・改良)

- (1) 「資源計画 - 原材料在庫 - 未手配原材料在庫削除...」コマンドの追加
ステータスが未手配の原材料在庫を削除します。
ヒント:MRPリスト作成で過去発注があり、「MRPリスト 原材料在庫リスト」コマンドを実行し、再スケジューリングを実施したあとにそれらを削除できます。

- (2) マクロコマンド「FIX_BY_ORDER_PRODUCT_START_DATE」を追加
書式：FIX_BY_ORDER_PRODUCT_START_DATE 引数 1 (日時)
「スケジュール - 固定 / 解除 - オーダー期間固定...」コマンドを実行します。
- (3) マクロコマンド「RELEASE_BY_ORDER_PRODUCT_FINISH_DATE」を追加
書式：RELEASE_BY_ORDER_PRODUCT_FINISH_DATE 引数 1 (日時)
「スケジュール - 固定 / 解除 - オーダー期間解除...」コマンドを実行します。
- (4) マクロコマンド「MAT_NOT_ORDER_DELETE」を追加
書式：MAT_NOT_ORDER_DELETE 引数 1
引数 1 : (「0」: 半製品を含まない、「1」: 半製品を含む)
「資源計画 - 原材料在庫 - 未手配原材料在庫削除...」コマンドを実行します。

Ver13.021 Ver13.030 (H15.5.26)

(追加・改良)

*** 重要 ****

- (1) 受注情報リストのデフォルトのフィールドの名称を変更しました。

「引当て」 「引当て情報」

立上げ時に変更したフィールドの名称はデフォルトの名称に設定します。

- (2) 「スケジュール - 固定 / 解除 - オーダー期間固定...」コマンドの追加
オーダーの生産開始日が設定日時以前の場合、固定します。
- (3) 「スケジュール - 固定 / 解除 - オーダー期間解除...」コマンドの追加
オーダーの生産終了日が設定日時以降の場合、固定解除します。

Ver13.008 Ver13.021 (H15.5.14)

(追加・改良)

- (1) スケジューリング画面の優先順位項目へ以下を追加

「シリーズ生産終了日」

シリーズ生産終了日を比較します。

- (2) スケジューリング画面の優先順位項目へ以下を追加

「オーダー最遅終了日」

オーダー最遅終了日を比較します。オーダー最遅終了日が空白の場合は、
オーダー最遅仕上日を比較対照とします。

注意：オーダー最遅終了日は、オーダー最遅仕上日ではありません。

ヒント：「オーダー - オーダー最遅終了日設定 ...」コマンドを使用している場合は、
これを優先順位に追加した方が良い結果ができる可能性が高いです。

Ver13.0 Ver13.008 (H15.5.8)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートの左端の名称欄のフォントを「名称の色」のプロパティ設定に
関わらず、フォント 2 プロパティの設定フォントを使用することにした。

- (2) オーダーガントチャートの左端の名称欄のフォントを「名称の色」のプロパティ設定に関わらず、フォント 2 プロパティの設定フォントを使用することにした。
- (3) 製品ガントチャートの左端の名称欄のフォントを「名称の色」のプロパティ設定に関わらず、フォント 2 プロパティの設定フォントを使用することにした。
- (4) 個別ガントチャートの左端の名称欄のフォントを「名称の色」のプロパティ設定に関わらず、フォント 2 プロパティの設定フォントを使用することにした。
- (5) 各種ガントチャートの下部ヒストグラムの左端の名称欄のフォントを「名称の色」のプロパティ設定に関わらず、フォント 4 プロパティの設定フォントを使用することにした。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)